

ビデオ会議エコシステムを従業員に合わせて最適化する8つのポイント

Microsoft Teams®、Zoom、Google Meetなどのビデオ会議アプリケーションに大規模な投資を行ったとしても、会議室からデスクトップまで、コラボレーション エコシステム全体を最適化しなければ、その投資から最大限の価値を引き出すことはできません。



1 リモートで働く従業員がビデオ会議に平等に参加できるように、エンタープライズグレードのウェブカメラとヘッドセットを支給する



33%

パンデミック後にもリモート勤務を続けるであろう従業員の数¹

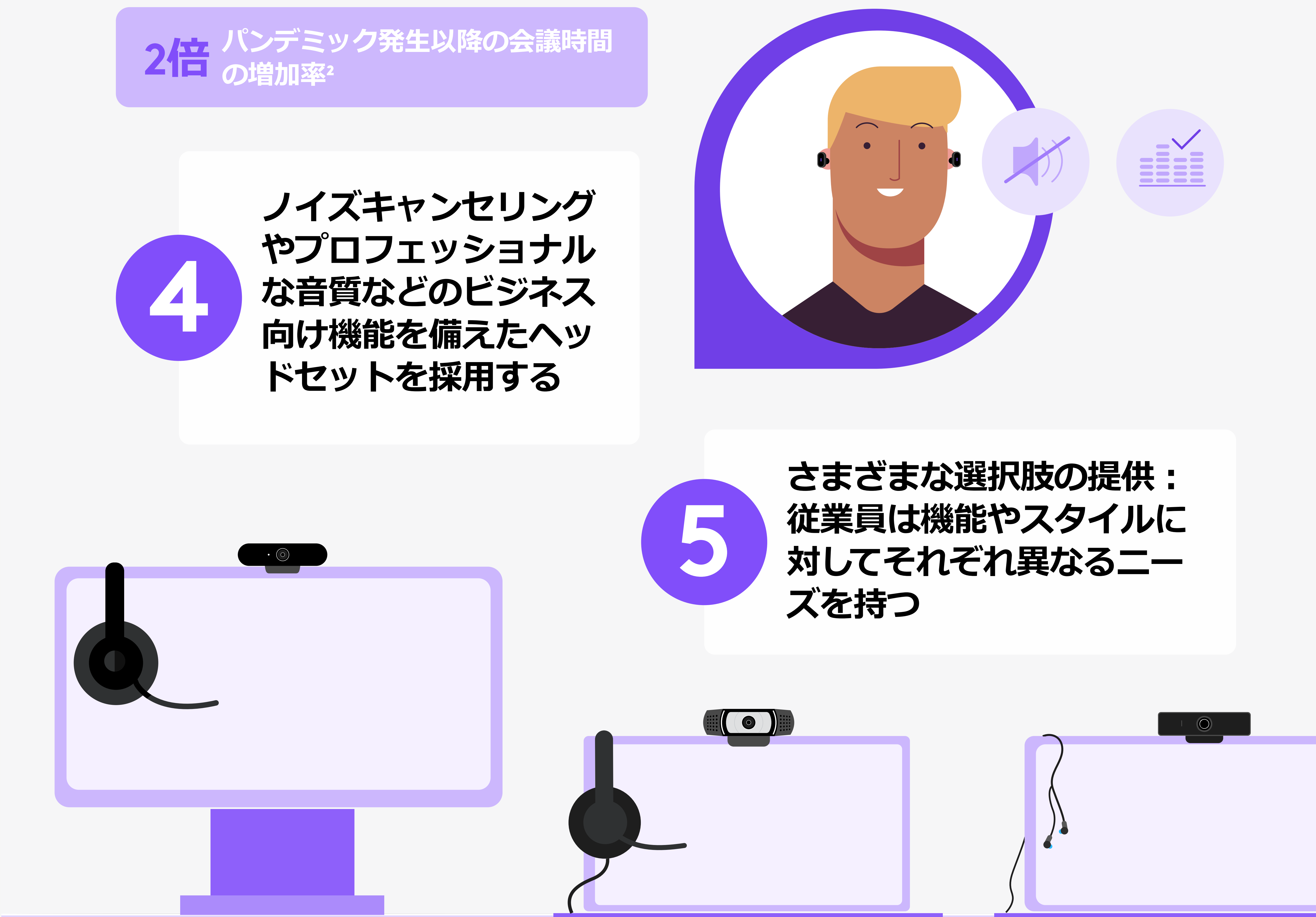
2

ヘルプデスクのチケットを減らし、一元的な管理を実現するためにビジネス アプリケーション認定のウェブカメラとヘッドセットを導入する



3

微光下での光補正など、ウェブカメラに搭載されている先進的な機能に注目する



2倍

パンデミック発生以降の会議時間の増加率²

4

ノイズキャンセリングやプロフェッショナルな音質などのビジネス向け機能を備えたヘッドセットを採用する

5

さまざまな選択肢の提供：従業員は機能やスタイルに対してそれぞれ異なるニーズを持つ



6

多くのユーザーにとってビデオ会議における最優先事項は優れた画質と音質であることを覚えておく

7

さまざまな従業員やユースケースのニーズに合わせてられるベンダーを選ぶ



73%

柔軟にリモートワークを選べる状況の継続を希望する従業員²



8

従業員に優れた画質と音質を実現するためのヒントやテクニックを紹介する1~2分の解説ビデオを提供する

ロジクールは、使いやすく効果的で信頼性の高いビデオ会議ソリューションを提供しています。詳細はこちら：[Logicool.co.jp/vc](https://logicool.co.jp/vc)